



大分大学開放イベント特別シンポジウム

日時 平成22年10月31日(日) 開催予告

大学祭も
同時開催

参加費無料
申込不要

13:00~14:45(ﾌﾟﾚ企画 12:30~)

少年・障害者など 社会的弱者の犯罪の裏にある真実

ﾌﾟﾚ企画(12:30~)

◆「必見! 田川ふれ愛義塾の驚くべき実践」(全国放映番組のビデオ上映)

プログラム(13:00~)

◆講演Ⅰ

「触法・非行少年と社会との関り・自分の居場所を探して・」

講師 更生保護施設田川ふれ愛義塾理事長 工藤 良 (元覚醒剤取締法違反者)

◆講演Ⅱ

「触法障害者・高齢者とインクルージョン・再犯防止の観点から・」

講師 社会福祉法人済生会理事長 炭谷 茂 (元厚生省社会・援護局長)

◆ディスカッション

「炭谷、工藤両氏に問う、これからの触法者支援」

座長 大分大学福祉科学研究センター 椋野 美智子
大分大学教育福祉科学部 工藤 修一

問合せ先：社会連携推進課 (097-554-8533)

運営協力：大分県地域生活定着支援センター



田川ふれあい義塾理事長
工藤 良

中学2年で暴走族「極連會」に加入し、18歳で3代目総長となる。暴走行為などで少年院に入院。22歳の時には覚醒剤で現行犯逮捕され、拘置所拘留中に更生を決意する。そして、2002年に暴走族仲間を説得し、「極連會」を

ボランティア団体「GOKURENKAI」に衣替え。この活動は、2003年の「NHK青春メッセージ全国大会」で「大賞」を受賞。

2005年には、子どもたちの駆け込み寺「田川ふれ愛義塾」を設立(2009年に更生保護施設として認可)。その実践と成果は大きな注目を集め、講演で全国を駆け巡っている(年間約60回)。著書として、自分の生い立ちをつづった『逆転のボランティア』(学研、2004年)等がある。



済生会理事長
炭谷 茂

1969年東京大学法学部卒業後、厚生省(当時)に入る。厚生省社会・援護局長、環境省官房長等を経て、2003年7月環境事務次官に就任、2006年9月退任。現在、恩賜財団済生会理事長、学習院大学法学部特別客員教授、日本更生保護協会理事、(福)太陽の家理事、マクドナルド・ハウス財団理事等を務める。

国家公務員在職中から一個人として障害者、ホームレス、引きこもりの若者、刑余者などへの就労支援、貧困地域のまちづくりなど社会貢献活動に従事している。著書として「私の人権行政論」(解放出版社、2007年)、「社会福祉の原理と課題」(社会保険研究所、2004年)等がある。

会場 大分大学旦野原キャンパス 第一大講義室

住所 大分市大字旦野原700番地(車で、大分光吉ICから10分、大分駅から20分)